

天然温泉100%

かけ流し式(完全放流式)
濾過循環はしていません



濾過循環をしていないため
湯舟内で温度差がある場合があります。



青山やまとの大浴場、露天風呂、家族風呂、客室の露天風呂はすべて天然温泉100%。
3本の源泉からの温泉をご入浴温度に調整して湯舟に入れてあります。
濾過循環をしない自然の大地の恵みです。

*季節により温度調整のため地下水を加えることがあります。
*客室の露天風呂について、お好みで温度を調整される場合は水またはわかし湯をお使いいただけます。

青山やまと

禁忌症 浴用 急性疾患(とくに熱のある場合)、活動性の結核、悪性腫瘍、重い心臓病、心臓病(ただし高温浴おおむね42℃以上の場合)、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、高度の動脈硬化症(ただし高温浴の場合)、高血圧症(ただし高温浴の場合)、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中(とくに初期と末期)。

適応症 浴用 神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔病、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進。

入浴の方法及び注意

- 1) 温泉療養については、温泉について専門的知識を有する医師の指導を受けることが望ましい。
○温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とし、その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。
○温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間とし、湯あがりや残った症状が回復するまで、入浴回数を減じ又は入浴を中止すること。
- 2) 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは5分ないし10分間くらいとし、なれるに従って延長してもよい。
- 3) 入浴中は一般には安静を守り、入浴後は湯冷めに注意して一定の時間の安静を守る。
- 4) 入浴後は身体に付着した温泉の成分を洗い流さない。(湯ただれを起こしやすい人は着水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。)
- 5) 熱い温泉に急に入るとめまいを起こすことがあるので、身体にかけ湯をしてから入浴する等、十分注意する。
- 6) 食事の前・直後の入浴は避けることが望ましい。
- 7) 飲酒しての入浴は特に注意する。

源泉：同173号と鎌田41号と同277号の混合泉

泉質：単純温泉(弱酸性・重碳酸ナトリウム・高硫酸)

陽イオン	陰イオン	無機成分	その他無機成分	総成分量
Li ⁺	F ⁻	H ₂ SiO ₃ 62.7	Li ⁺ 0.07	T.P. <0.006
Na ⁺ 169.1	Cl ⁻ 83.6	HBrO ₂	Ag ⁺ 0.07	Mn ²⁺ <0.01
K ⁺ 2.8	Br ⁻ 0.3	HA ₂ O ₂	Fe ²⁺ 0.06	Fe ³⁺ <0.05
Mg ²⁺ 0.1	I ⁻	溶解ガス成分	Zn ²⁺ 0.015	Cu ²⁺ <0.01
Ca ²⁺ 69.9	SO ₄ ²⁻ 365.6	CO ₂	GM ⁺ 0.068	HBrO ₂ <0.6
Str ²⁺ 0.2	HCO ₃ ⁻ 17.1		I ⁻ 0.07	CO ₂ <0.1
Mn ²⁺	CO ₃ ²⁻ 6.0		HA ₂ O ₂ 0.062	NH ⁴⁺ <0.1
Fe ²⁺				